

全員登校再開から2週間が経過しました。例年、6月は祝日が1日もない上に体育大会や農業クラブの校内大会が実施され、気温の上昇や梅雨の始まりで疲労が蓄積されやすい時期です。今年は分散登校から始まり、学校行事は延期されました。過去2年間とは全く異なる6月となりましたが、今年特有の疲労があるかもしれません。週末にしっかり体調を整えて、期末考査や進路戦線に向けて準備を進めていこう。

さて、求人票の受付は例年通り7月1日から始まり、企業の人事担当者が多数来校されます。しっかりした態度(服装)で挨拶をすると共に、進路実現に向けて、より高い意識を持った言動を心がけてください。

進路実現に向けて⑧ ～就職試験のルール～

就職(採用)活動にもルールがあります。それは公正・公平な就職活動が行われ、就職希望者と企業の双方に不利益が生じないようにするためです。現在、大学4年生は就職活動の真っ只中にありますが、比較的ルールは少ないです。エントリー解禁日や内定解禁日など日程に関するルールがあるぐらいで、制限よりも自由を優先しています。就職希望者は同時に何社も受験できますし、企業は何人でも受け付けることが可能です。受験希望者が殺到するような人気企業では、応募書類の段階でふるいにかけることも通常です。そして、応募～内定までの過程で大学は関わりません。受験生と企業がインターネットを活用して、1対1で行います。つまり、優秀な学生は複数の企業から内定を得ることができ、そうでない学生は1社も内定を得られない、という状況になります。よって、必ずしも大卒の方が良い企業に就職できるとは限りません。「大学で何を学びどのような力をつけたか」で大きな差が生まれます。進学希望者はそのことをよく頭に入れておいてください。



一方で、高卒の就職活動にはたくさんのルールがあります。日程や書類提出、受験可能な企業数や求人倍率など、大卒とは比べ物にならないくらいルールまみれです。そして、一番大きな違いは受験者と企業の間に学校が入ることです。応募前企業見学を除いて、試験当日以外に受験者と企業が関わることは一切ありません。では、なぜそのようなルールがあるのでしょうか。

それはつまり、あなたたちを守るためです。就職できないことを自己責任として放り出すのではなく、社会全体で高校生の雇用を守るということです。つまり、高卒は「受験企業が限られる一方で、就職はしやすくなる」と言えると思います。先生の話をよく聞いて、ルールの中で存分にあなたの魅力を発揮して、ぜひ内定を勝ち取ってください！



就職試験の主なルール

①日程

7/1～求人票受付開始 ⇒ (今年度のみ)10/5～受験書類受付 ⇒ (今年度のみ)10/16～試験開始
※求人票一覧公開、受験希望調査票提出、三者面談、履歴書提出など校内の日程は現在調整中であり、早ければ次号(7/3発行)でお伝えする予定です。

②求人票の様式

情報格差が生じないように、求人票の様式は全国统一です。給与や休日などの労働条件だけでなく、選考内容や離職率などの有益な情報が掲載されています。また、求人票はハローワークを通して学校に提出されますので、情報の信用性が担保されています。以下、厚生労働省のHPを参照してください。

https://koukou.gakusei.hellowork.mhlw.go.jp/doc/kyuujinn_point_kousotsu202005.pdf

③求人倍率

3倍以内に抑えるように定められています。つまり、企業の採用予定人数が3名の場合、求人は最大でも9名までしか出せないということです。不採用となって、就職できない高校生が多数出ないようにするためのルールです。

④履歴書の様式

(書類段階で)不利益を被らないように「近畿高等学校統一用紙」を提出します。最低限必要な個人情報や資格、志望の動機を記入します。「履歴書に書いたことは面接で質問される」ことを前提に丁寧に書き上げます。「進路の手引」22ページや以下のHPを参照してください。(今年度は若干、様式が変更されるようです)

<http://kitakinki.webcourse.jp/resume/>

⑤受験企業

10/31までは1人1社までしか受験できず、内定すると必ず入社しなければなりません。11/1以降は1人2社まで受験可能になりますが、指定校求人と公開求人を同時に受験して内定を得た場合、指定校求人を優先しなければなりません。また、公務員試験や大学・短大・専門学校などの進学試験と併願受験することはできません。詳細は「進路の手引」9ページで確認してください。